

日本語教育討論会

TBLT (Task-Based Language Teaching) と 学習者主体の学び

2018年7月8日(日) 10:00~12:00

早稲田大学早稲田キャンパス22号館502教室



百濟正和 英国カーディフ大学

TBLTを例に、学習者主体の日本語教育について考える。

まず、百済がTBLTの紹介のプレゼンテーションを行う。TBLTになじみの少ない参加者もターゲットとして、TBLTが考えられた背景、TBLTの言語教育観、具体的な方法について概観する。その中でも特にTBLTにおける「タスク」と日本語教育で一般に言われる「タスク」との違いについて詳述する。



今井新悟 早稲田大学

次に、今井が学習者中心あるいは学習者主体の学びという観点から、TBLTにおけるタスクの意味とその扱い方について質疑し、百済が応答する。日本語教育においても、個を尊重する、学習者の、学習者による、学習者のための学びを推進すべきだと考えているので、その観点から切り込みたい。さらにフロアと一緒にディスカッションを進める。その際も学習者主体ということ 키워ドにして、その必要性を確認し、それを実現する具体的な手法としてのタスクの在り方を明らかにしていく。

(終了後、ランチ懇親会を予定)

申し込み不要: 当日、直接会場にお越しください。
お問い合わせ: project@alce.jp (企画委員会)